



「地区・クラブにおける継続性」

日本の3地域において、2019～2020、2020～2021年度(第3地域は2018～2019年度から)に「戦略計画」についてのアンケートを当該年度のDGEにお願いしてご回答をして戴きました。

このアンケートの3地域のデータについては、近いうちに皆様方にお示しする事が出来ると思いますが、今回のコーディネーターニュースでは、第3地域の結果に基づいて述べさせて戴きます。なお、本年4月19日に開催された第1, 2, 3地域合同会議でのデータのすり合わせではほぼ同様の結果ではあったと感じています。

2020～'21年度では地区戦略計画(ビジョン)委員会は、地域内では約91%の地区が委員会活動を開始しています。2018～'19年度の調査では、8地区が委員会を設立し活動開始、2地区が設立はしているが未活動、1地区がまだ委員会を発足していない、という結果でした。2019～'20年度の調査では、発足して活動している地区が8地区、発足しているが活動していないが3地区、という結果でした。紙面の関係でお見せすることが出来ませんが、年度ごとに回答が一致している地区は7地区です。4地区は統一された3年間の統一した進展がありません。このことは地区戦略計画委員会が持続性をもって運営されていない可能性が充分あるものと考えます。そうであればこの点の修正をしていくことをお考えいただきたいと思います。

'20～'21年度で地区ビジョン、中長期目標を決定しているのは7地区、検討中が4地区でした。これも'19～'20年には決定していたのに、'20～'21年には検討中となっている地区が2地区見られました。勿論、もしこの地区がビジョン・中長期計画の見直し・再検討をしているのであれば、これは頼もしいものかと考えます。

各地区内のクラブの戦略計画委員会の設置状況に目を移してみましょう。'20～'21年度でクラブ戦略計画委員会(別名称でも可)の設立は50%以上が6地区、50%以下が5地区です。各クラブの委員会の設立は、50%以下のクラブでも'18～'19年度より着実に委員会設置されているクラブの増加が見られているようです。まだ委員会の設置が整っていないクラブは、担当のガバナー補佐、あるいは地区戦略計画委員会へご相談の上、クラブ会員基盤を堅実なものにして戴きたいと存じます。

地区内でクラブビジョン或いは中長期計画を決めておられる割合が50%を超えている地区は、残念ながら2地区のみに終わっています。これはクラブの委員会の皆様にお力を注いで戴き、是非“クラブの3年5年10年先のクラブのあり方”、“皆様方のクラブの発展”をお考えの上、“クラブのビジョン”をお考え下さい。

ここでもう一度申し上げますが“クラブのビジョン”というのはその年度の“会長のテーマ”“地区ガバナーのテーマ”ではありません、先程申し上げた“自分のクラブの未来の姿”なのです。この中には“未来の奉仕活動を如何にするのか?”“自分のクラブの会員数をどの程度にするのか?”“クラブの資金を如何にするのか?”などなど様々なことが考えられるでしょう。是非クラブで検討をしてみてください。

2012年RI D2660DGを務めさせて戴いた後、地区戦略計画委員会の設立に始まり、地区内クラブに戦略計画委員会設立に力を注いできました。

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーターを務めさせて戴き様々な方に教えられ、様々なことを見せ戴きました。

各クラブが創立時のロータリーに入会した時の“ワクワクした気持ち”を若い世代に伝え、自分が行ってきた奉仕活動でえた“ワクワクとした気持ち”を若い世代に伝えて下さい。

私がいつも「ロータリーを皆様の時代に終息させて良いのですか?私はロータリーは未来に続くものだと考えています。そのためには“若い血の導入“が不可欠です」と申し上げています。

この素晴らしい組織を新しい仲間を加え皆様と共に守っていきましょう!!



新型コロナウイルスの感染が始まって以来、約1年半となりますが、まだまだ収まる気配すらありません。

首都圏、関西圏、中部地域などの大都市圏に限らず、全国各地に蔓延しております。

私の居住する四国、愛媛県のような地方都市でもクラスターが発生し、しかも変異株が増加している状況であります。この今まで経験したことのないようなコロナ禍のなかで、私達は企業活動、家庭生活を、また、ロータリーの奉仕活動をどのように過ごしていけば良いのか、今こそロータリアンとしての能力を発揮しなければならない時だと痛感しております。

ロータリーの奉仕活動としては、各地域、各地区、各クラブ共大きな試練にさらされていると思います。

不要不急の外出の自粛、大人数での会合の自粛などの社会的要請に応えるため、諸事業の延期、中止など大変ご苦勞をなさっていると思われまます。当地でも多数のクラブが例会そのものを休会せざるを得ない状況で、ロータリーの基本であるクラブ会員同士の親睦、交流さえままならない状況であります。

しかし、こういう時こそ新しい発想で活動を続けて行くべきであると思います。

例会を休会にするクラブもあれば、オンライン例会を開催しているクラブもあると仄聞しております。

知恵をだし合って新しい例会のありかたに挑戦してみるのも面白いと思います。

地区活動としても、各種の方法があろうと思います。

ちなみに、当地区ではガバナーのリーダーシップのもと、連日奮闘している医療現場へ、少しでもお役に立ちたく、パルスオキシメーターを四国4県の医師会に寄贈することと致しました。

各地区でも、それぞれ各事業を実施されている事と思います。

お互いにコロナに負けないよう頑張りましょう。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一（新居浜RC）